学校番号	１００９

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解「世界史Ａ」　（帝国書院）						
副教材等	「地歴高等地図」　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史学習によって、社会的事象のなかの時間軸を感じる。
・講義や作業学習を通して、歴史的事象に「なぜ」の視点を持ち、自分の考えを持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。

２　学習の到達目標

・近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・現代の諸課題を歴史的観点から考察することができる。
・国際社会に主体的に生きる一人の人間としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成するに非恩国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	課題 ワークシート 振り返りシート ノートなどの提出物	定期考査 振り返りシート ノートなどの提出物	定期考査 ワークシート ノートなどの提出物	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界の一体化と日本	・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・自由主義・ナショナリズムの進展 ・アジア諸国の動揺 ・東アジアの大変動	○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:18 世紀後期以降のヨーロッパ・アメリカ諸革命への関心を高め、革命の時代の特質や国民国家建設の特質について意欲的に追究しようとする。 b:ヨーロッパ、アメリカの諸革命や国民国家の特質について考察し、それぞれ果たした歴史的意義を判断し適切に表現している。 c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート
後期	地球社会と日本	・現代につながる社会の形成 ・第一次世界大戦がもたらしたもの ・民族自決を求めて ・経済危機から第二次世界大戦へ	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ 	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 振り返りシート

後期	地球社会と日本	・冷たい戦争の時代 ・冷戦終結への道のり ・地球社会への歩み・持続可能な社会をめざして	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○	a:米ソ両陣営の対立植民地支配からの独立などに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている b：第２次大戦後の世界の政治・経済の動向と関連付けて多面的・多角的に考察し適切に表現している。 ｃ：民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題・環境問題などに関して、情報を選択し、図表にまとめたりしている ｄ：第２次世界大戦後の米ソ対立の状況や冷戦後のグローバル化を踏まえて、基本的な歴史的事項を経済に関連付けて理解し、その知識を身につけている	定期考査 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。